

地域振興推進費事業計画・自己評価書（令和元年度実績）

提出区分	実績			佐久地域振興局	
整理番号	8	課題区分	C		
実施機関	佐久地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名	佐久地域広域観光推進事業			電話	0267-63-3157
				E-mail	sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	軽井沢町を訪れる海外を含む観光客が佐久地域を周遊観光できるよう、佐久地域の市町村を含めた関係団体等と連携した観光PRを行うとともに、星空をテーマとした観光地域づくりを推進する。			
	現状と課題	海外を含め多くの観光客が来る軽井沢町から周辺自治体への波及は薄く、広域的周遊観光が課題である。また、天体観測施設等が数多くある佐久地域の美しい星空を活かした観光地域づくりが必要である。			
	内容 (変更後の内容)	○軽井沢町を訪れる外国人を含めた観光客が佐久地域の観光情報を取得するために、QRコードを掲載したカードを作成し、軽井沢町の主要観光地に設置・配布を実施。 ○軽井沢町を訪れる観光客の佐久地域への周遊を促進するため、軽井沢駅等において、市町村と協力し、佐久地域及びしなの鉄道沿線市町村の観光PRを実施。また、効果的な観光PRを実施するため、観光関係者に向けたPRセミナーを実施。 ○白駒池・苔の森は、中部横断自動車道が八千穂高原ICまで延伸されたことにより、引き続き多くの観光客が見込まれるため、シャトルバスや公共交通機関の情報や観光施設等を掲載するチラシを作成・配布し、白駒池周辺駐車場の渋滞緩和を図る。 ○美しい星空をテーマとした観光地域づくりを推進するため、天体観測施設や市町村と連携し、佐久地域の小中学生を対象に星空観賞や天体施設を視察するイベント等を実施。更に、他の地域振興局と連携し、「長野県は宇宙県」スタンプラリーに協力する。 ○軽井沢からの星空観賞ツアーの商品化に向けた、星空観賞モニターツアーを実施。			
	事業期間	平成31年4月		～	令和2年3月
	成果目標 (成果指標)	佐久地域への観光客の前年以上の増加を図る。(平成30年15,887千人)			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	佐久広域PRカードの作成	QRコード掲載カード(英語併記)を作成し、軽井沢の主要観光地に設置、配布	424,361		
	軽井沢駅等における観光PR	軽井沢の観光客を佐久地域へ周遊させるため、軽井沢駅等で観光PRを実施	460,035		
	白駒の池・苔の森交通対策	白駒の池・苔の森の渋滞対策のため、シャトルバス等の情報チラシを作成・配布	95,040		
	美しい星空観光地域づくり	佐久地域の小中学生を対象に、星空観賞会を実施	342,486		
星空観賞モニターツアー	星空観賞ツアーの商品化に向けた、星空観賞モニターツアーを実施	743,230			
合計			2,065,152		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	○「広域観光情報発信カード」としてポストカードを8種類作成し、125,000枚を軽井沢町内で配布 ○7/8 地域の魅力ある観光地域づくりセミナーを開催 ○7/13、9/28 軽井沢駅で佐久エリア観光PRを実施 ○11/2 「佐久エリア星空観賞バスツアー」を開催 佐久地域の小中学生25人、保護者20人が参加 ○2/24・25 「星空観賞モニターツアー」を実施 首都圏在住の16人が参加 ○3/12～3/14、3/24 新型コロナウイルス感染症による広域観光風評被害拡大防止のため、観光施設において消毒作業を行うとともに、誘客のためのPRを実施		○「広域観光情報発信カード」は、17施設6イベントで配布。事業HPへのアクセスは毎月1,000件前後、うち英語・中国語ページが各300件前後あり、情報発信効果が認められる。 ○星空観賞バスツアーの参加者は、佐久地域の星空の魅力を学び、星空をテーマとした観光地域づくりに取り組む機運が醸成された。 ○モニターツアー参加者からは、ツアー内容について高評価を得た。委託先である信州たてしな観光協会では、台湾をターゲットとしたツアーの商品化に向けて取組を開始している。 ○平成31年(令和元年)の佐久地域への観光客数は15,312千人(速報値)となり、前年比4%減。浅間山の噴火や令和元年東日本台風の影響を受け、誘客の効果は伸び悩んだ。		○ 期待以上 ○ 期待どおり ● やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	今後も軽井沢から佐久地域への周遊観光の促進、星空と青空をテーマとした観光地域づくりを推進する。				